

2019年4月15日  
株式会社中部プラントサービス

## 多気バイオパワー 3年目の春

当社は、国内建設業界では、いち早く自社木質バイオマス発電設備として建設に取り組み、2016年6月に営業運転を開始した多気バイオパワーは、運転開始から3年目の春を迎えました。

当社として、ゼロからの出発以降「燃料契約先事情での供給困難」や「ボイラ蒸発管破損トラブル」等に直面し、苦労の連続でしたが、今では、

- ① 「燃料調達契約先」が20社になり安定調達可能
- ② 事業性改善諸施策の検討・実施
  - ・設備改造なく出力増加（6,700 → 6,750 kW）
  - ・送風機他の回転数を制御し、消費電力を削減・売電量を増加

③社内協力体制でのトラブル時の早期復旧や予防保全化等、多くの対策に取り組み、安定運営を図っています。

これは、多気バイオパワーに関わっていただいた社内外の関係各位の協力の賜であることは言うまでもありません。

多気バイオパワーは、一歩先を歩みつつ進化を続けるため、トラブル未然防止による稼働率向上や「四季を通じての最適燃焼制御方式」など発電効率向上施策などの改善に取り組み、さらなる安定運営を目指してまいります。

